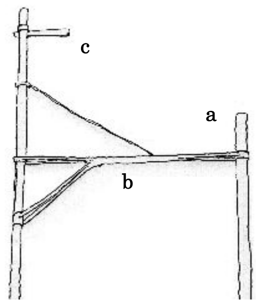
― リアル架線柱 取扱説明書 ―

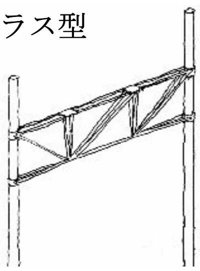
ご利用いただきまして大変ありがとうございます。
より楽しい模型趣味を多くの方々に満喫していただけるよう、丹精こめて製品化させていただいております。
私どもと多くの楽しみを共有していただけることを願っております。

本製品は、全て真鍮材を使用し、ハンダ溶接にて組上げた製品です。
単線区間の多いローカル線によく見られる柱材二本タイプの架線柱を製品化いたしました。
塗装の塗り分けを前提としたため、柱材（記号：a）と梁部材（記号：b）および
オプション部材（記号：c）のそれぞれは固定されておりません。
各部材の塗装を行う際、全パーツを中性洗剤・パーツクリーナー等で洗浄し
プライマー（ミッチャクロン等）処理を施すことを強くお勧めいたします。

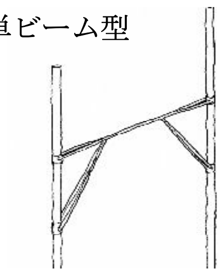


架線柱を設置する際、お手元のレイアウトに対してドリル、ルーター、ピンバイスなどを用いた
1.5ミリ径の穴あけ作業が必要です。柱間隔は38ミリ（柱中心位置基準）となっておりますが設置箇所のカーブの状態や
カントの有無、走行車両のサイズを元に、適切なクリアランスが確保できる位置を十分検討の上設置して下さい。
カーブ区間に設置の場合、左右共に同じクリアランスになるとは限りませんのでご注意下さい。
柱材は発注いただいた際の状況により長めの切り出しを行っておりますので、お好みの長さに合わせて切断しご利用下さい。
Ｖトラス型と単ビーム型とでは架線の状況により設置の高さが異なりますので、実物の設置状況を参考に梁部材の高さを
設定して下さい。各部材の固定には瞬間接着剤を強くお勧めします。

Ｖトラス型



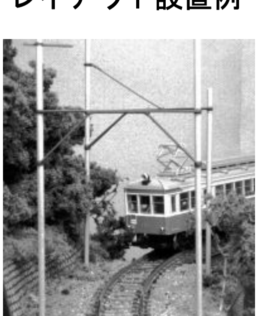
単ビーム型



別パーツ追加・アレンジをする際、
ハンダ溶接による追加設置方法を検討された場合、既存溶接箇所の
再融解に十分お気をつけ下さい。再融解しますと斜材・弦材等
バラバラに分解されてしまう可能性があります。この場合の破損を
再度ハンダ溶接によって修正される場合、別の溶接箇所が再融解し
解体状態に限りなく近づいてしまうので、決して慌てず
瞬間接着剤による修正作業をお勧めします。

材料の性質上、真鍮は導電性（電気が流れます）がありますので設置位置の検討の際や仮固定の際は、通電レール面や
車両に接触させぬよう十分な注意をよろしくお願いします。塗装後であっても ”こすれ” や ”はく離” が不意に発生しますので
万全とは言えません。これらの原因によりお手元のパワーパックや車両が故障・破損いたしましても当社では
一切保障いたしませんので、ご了承下さい。

レイアウト設置例







本製品のレイアウト設置例です。
ご希望のレイアウト路線形状や走行車両の
車体・パンタグラフ通過位置を十分検討の上
架線の設置状況をイメージし設置箇所の
選定を行う事をお勧めいたします。
尚、レイアウト完成後のレールメンテナンス等
の可否を考慮の上お楽しみ下さい。

（製品作者・測量士：三浦大）

箱根登山レイアウト・ジオラマ工房　有限会社アールケーワークス
〒463−0055　名古屋市守山区西新17−33
TEL / FAX 052 - 796 - 0571 / 052 - 796 - 0572
E-mail mezakan@rk-works.com
URL http://www.rk-works.com/~diorama/